

## 令和7年度 第3回 三ヶ日西小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月20日（金） 9:00～11:15
- 2 場所 浜松市立三ヶ日西小学校 3階会議室
- 3 出席委員 河合 成典、藤山美恵子、伊藤 暢洋、牧野 曜司、河合 文月、  
黒柳千賀子、酒井 恵子
- 4 欠席委員 清水ゆき奈、池田 易史
- 5 オブザーバー 佐々木 秀祐（三ヶ日支所職員）
- 6 学校支援コーディネーター 池田 易史、酒井 恵子
- 7 学校 坂本 友彦（校長）、寺田 善一（教頭）、  
宇野 主馬（教務主任）、桔川 記子（生徒指導・CS担当）  
中川 幸子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
  
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中川 幸子
- 10 議長の選出  
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から酒井委員を  
推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
  - (1)「本年度の取り組み」・「学校関係者評価」・「いじめ防止基本方針」
  - (2)次年度の学校運営の基本方針の概要説明
  - (3)学校協議会の自己評価
  - (4)その他
- 12 会議記録  
司会から委員総数9人のうち7名出席で過半数に達し、会議が成立したと報告があ  
った。
  - (1)「本年度の取り組み」・「学校関係者評価」・「いじめ防止基本方針」  
議長の指示により、教務から、別紙資料に基づき「本年度の取り組み」・「学校関係  
者評価」・「いじめ防止基本方針」の説明があった。委員からは、以下の発言があった。
    - ・今学んでいることが将来や自分の成長にどう繋がるのかを子供が実感し、自己調整  
しながら深く学べるような、目的意識を持たせる指導が重要である。  
(河合文委員)
    - ・学ぶことの意味・意義について、授業での意識付けが大切である。ICTを効果的に  
活用して児童に寄り添った個別の支援を行う工夫が必要である。 (伊藤委員)

## (2) 次年度の学校運営の基本方針の概要説明

議長の指示により、校長から、次年度の学校運営の基本方針の概要説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・時間外勤務の減少など、職場環境の改善を評価しつつ、それが教育活動の「おろそかな対応」に繋がらないよう、効率化と質のバランスが必要である。（河合文委員）
- ・教員の負担軽減と教育活動の充実を両立させるため、学校ボランティア等の外部人材を、授業や生活の各場面でもっと積極的に取り入れていけるとよい。（酒井委員）

## (3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭から学校運営協議会の自己評価の説明があった。委員による自己評価を行い、全体で河合成典会長がとりまとめた。

<評価項目 1.>学校運営の基本方針について熟議することができたか。

**よくできた：** 学校長より十分な説明がなされた。また、質疑応答にも適切な回答がなされ、よく理解することができた。

<評価項目 2.>教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

**できた：** 課題（先生方への聞き取りが不十分であったことなど）はあるが、ボランティアの支援体制が整っているのも、より一層見通しをもって、計画的・組織的な運営を継続していく。

<評価項目 3.>協議会での協議結果について、十分な情報発信をおこなったか。

**十分におこなった：** ブログ、HP、学校だより、CS だよりで十分発信していた。

<評価項目 4.>今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・不易（過去からの大切にすべき教育）と流行（ICTをはじめ、新たに導入していく教育）のバランスを取りながら教育活動を進めていく。
- ・本校の教育活動を保護者に一層理解していただけるよう、見える化できるとよい。そうすることで、学校と家庭の視点を揃え、それぞれができる教育の在り方を見出すことができる。

## (4) その他

議長の指示により、教頭から次年度の日程について説明があった。

## 13 その他報告事項等

オブザーバーとして三ヶ日支所の佐々木秀祐さんが参加した。双方の情報交換を進め、行政と学校の連携ができるとよい、という話があった。

次回の第1回学校運営協議会は令和8年4月27日(月)午前9時から3階 会議室で開催する旨の報告があった。